

公表:令和 5年 5月 31日

事業所名:山鼻キッズ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの 関係で適切であるか	○			・午前と午後5名程度 の定員としている。 ・身支度と活動の場を 分けている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○				
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化 された環境になっているか。また、障が いの特性に応じ、事業所の設備等は、 バリアフリー化や情報伝達等への配慮 が適切になされているか	○				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる 環境になっているか。また、子ども達の 活動に合わせた空間となっているか	○				
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参 画しているか	○				
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等 に対して事業所の評価を実施するととも に、保護者等の意向等を把握し、業務改 善につなげているか	○				
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け 評価表の結果を踏まえ、事業所として自 己評価を行うとともに、その結果による 支援の質の評価及び改善の内容を、事 業所の会報やホームページ等で公開し ているか	○				
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結 果を業務改善につなげているか			○		今後、外部の評価を検討 していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修 の機会を確保しているか	○			研修を受ける機会を設 けている。	
適切な支 援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保 護者のニーズや課題を客観的に分析し た上で、児童発達支援計画を作成して いるか	○			懇談を行い支援計画を 立てている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、 標準化されたアセスメントツールを使用 しているか	○			ルールとして確定はし ていないが、視点を固 定してアセスメントを 行っている。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援 ガイドラインの「児童発達支援の提供す べき支援」の「発達支援(本人支援及び 移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」 で示す支援内容から子どもの支援に必 要な項目が適切に選択され、その上で、 具体的な支援内容が設定されているか	○				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行わ れているか	○				

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎日MTGを行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			週替わりで活動を変更している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			懇談や保護者からの連絡があった際にはチャットワークなどを活用して情報を共有している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					該当なし
関係機関や保護者との連携	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					該当なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			子育てサロンを月に2回(第2・6金曜日)に開催している。	

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			月に1回、札幌市中央部会に参加している。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時、連絡ノートを活用し子どもの様子をお伝えしている。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			親子イベントにて講座を開設している他、法人全体でも行っている。	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			困りごとがあるときには、懇談等を用いて頼者との話し合いの場を設けている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親子イベントにてカフェタイム行っている。	
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者様から電話があった際には、職員間で共有して迅速に対応している。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			子育てサロンを月に2回(第2・4金曜日)に開催している。	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○				
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回(5・9月)に行っている。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			服薬に職員が関与することは、NGとしている。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			食物アレルギー調査を4月～5月にかけて行い、回答を得ている。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置している。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和 5年 6月 30日

事業所名:山鼻キッズ

保護者等数(児童数) 34 回収数 29 割合 85 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○				身体を動かすのに十分なスペースがある。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○				保育士、社会福祉士など専門職の先生がいる。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○				・静と動の部屋に分かれている。 ・物がどこに置かれている把握できるようになっている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○				明るく清潔感があたので入所を決めた。	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	○				・家族にもヒアリングしてニーズを組みとってくれる。 ・子どものことをよく見て作成してくれている。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				・客観的にみて子どもに必要な支援を提案してくれている。	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				支援計画に沿って進められている。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○				毎週様々な企画と個別活動を取り入れてくれている。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				子育てサロンが開催されている。	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○				規定については説明うけている。負担額はプリントで報告されている。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	○				面談時に細かく説明を受け、不明なことがあれば質問を受けてくれている。	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	○				・祝日親子イベントにおいて毎回ペアレントトレーニングを受けることができる。 ・ペアレントの時間は学びも多く、様々なアイデアを貰っている。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	○				送迎時や面談を通して日々の子どもの状況を伝えたり、伺ったりしている。	

	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○				定期的な面談の他にもその都度対応してもらっている。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	○				・祝日親子イベントへの参加で他の保護者の方と知り合えた。古くから付き合いのある友人には話せない内容も共有できるので心が楽になる。 ・よく開催されており、他の保護者の方々の意見や悩みを共有できるいい時間となっている。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	○				・いつも対応が早く有難い。メール、電話、連絡帳などを使って対応して頂いている。 ・相談があるときにはすぐに対応してくれる。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○				いつもどんな活動をしたのか報告を頂き、子どもと振り返りができて助かっている。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	○				月刊のおたよりがあるので様々な情報や連絡が伝わりやすい。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	○				月刊のおたよりでも顔を載せないなど配慮されています。	
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	○				・避難訓練をよく行っていると子どもから聞く。 ・訓練をしている時の様子を報告してくれる。	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○				定期的に避難訓練が行われている。	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	○				・楽しみに通っている。集団生活の練習の場としてとてもいい場所となっている。 ・先生とお話できることやお友達と一緒に遊べるのが楽しく、報告してくれる。 ・「明日はかわせみ？」と聞いてくる。いつも笑顔で通所している。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	○				・子どもの変化などをしっかり見て頂いて成長を感じられて通所して良かった。 ・先生方の懸命で温かい対応に安心している。感謝している。 ・大変満足している。いつもありがとうございます。	

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。